



2022年12月9日
東日本旅客鉄道株式会社

国際鉄道連合（UIC）の標準化組織の議長に JR 東日本社員が就任！ ～アジア・太平洋地域の会員から初めての議長就任～

- このたび、国際鉄道連合（以下、UIC^{※1}）の標準化プラットフォーム^{※2}の議長に、JR 東日本パリ事務所の外狩 麻子が2023年1月より就任することが、12月8日のUIC総会にて正式に承認されました。これまでの副議長としてUICの標準化活動へ貢献した実績が評価されたもので、アジア・太平洋地域の会員からの初の議長となります。
- JR 東日本では、海外鉄道事業への参入機会拡大のため、鉄道にかかわる日本の技術を国際規格に盛り込む、または一部適合させるなどの標準化活動を行っています。今回の議長就任によりUIC標準化戦略及びIRS開発ガイドラインの策定などUIC標準化活動の運営に関わっていきます。
- 今後も日本の鉄道技術の国際的な普及を図り、世界の鉄道技術の発展に貢献していきます。



JR 東日本 パリ事務所 マネージャー
外狩 麻子



標準化プラットフォームでの活動の様子

- ※1：UICは、1922年に発足したフランスのパリに本部をおく、世界各国の鉄道事業者によって構成される国際機関です。世界95か国、200を超える鉄道関連団体から構成されており、円滑な国際鉄道運行を推進するため、鉄道における業界規格の開発・発行等を行います。
- ※2：標準化プラットフォームは、IRS（UICが開発・発行を行っている鉄道分野における業界規格）開発やそのためのガイドラインの作成・管理、UIC標準化戦略の策定等を行っており、UIC標準化活動の中心的役割を担っている組織です。